

第41号

2010.7.15

福祉だより



水辺の詩 沓名 華智

目次

- 自死遺族について2
- 平成21年度決算、社協役員の紹介について3
- 地域の活動の紹介4~5
- お知らせ、参加者募集6~7
- 心配ごと相談スケジュール他8

大切な人を自死で亡くされた方へ ～あなたはひとりではありません～

※遺族の気持ちを配慮し、自殺を自死と表記しています。

自死遺族とは、自死された方の親族に留まらず、恋人、友人、同僚、クラスメイトなど、自死された方と近い関係にあった人を指します。推定で、自死された数の5倍以上自死遺族がいるとされます。

全国では、自死者が12年連続年間3万人を超えています。自死遺族の方は、「あの時気づいていれば、死を防げたかも…」といった自責感や精神的なショックがあっても、誰にも相談できず、強いストレスを抱えています。

平成22年6月16日(水)、田原市で初めて自死遺族に関する研修会を行いました。研修には、高齢者、障害者のサービス事業所、医師会、仏教会、キリスト教会、アルコール依存症家族会、民生委員、行政など田原市内の様々な支援機関の方に参加していただきました。研修を通じて、自死に関する理解を広げ、田原市の地域全体で自死遺族を支える活動の第一歩を踏み出しました。



研修前半はAICHI自死遺族支援室
代表 吉田氏による、遺族の抱える
課題などについて講演を行いました。

研修後半は参加者同士による模擬相談を実施。
普段は相談を受ける側の立場の人達が、相談者
の立場になることにより、遺族への寄り添い方を
学び、理解を深めました。

自死遺族の相談窓口として、以下の機関があります。

- 愛知県精神保健センター ☎052-962-5377
(毎週月～金 9:00～17:00)
- AICHI自死遺族支援室 ☎090-4447-1840
(毎週月・水・日 14:00～21:00)



さまざまな悩みにより、誰にでも心理的に追い込まれる可能性があります。つらい時に弱音を吐くことは、決して悪いことではありません。

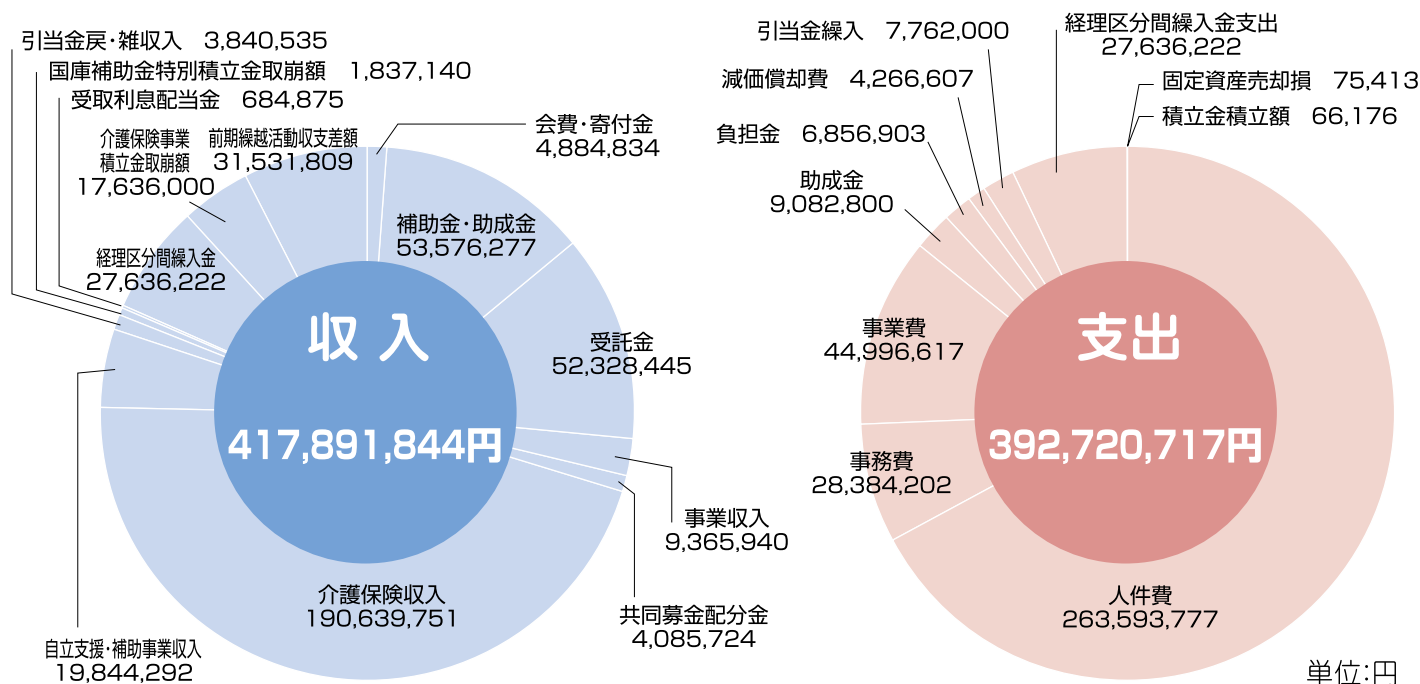
「気軽に弱音が吐けて、また近くの人の弱音を何も言わず聞いてあげる。」小さなことでも、私達市民1人1人ができれば、どの人にとっても生きやすい社会につながります。

まずは、気楽に弱音を吐くことから始めませんか？

● 問合せ先 田原市社会福祉協議会 ☎23-0610

平成21年度 田原市社会福祉協議会決算報告

本協議会の理事会・評議員会が平成22年5月27日に開催され、平成21年度収支決算が承認されましたので、報告します。



一般会計決算額

理事・監事・評議員名簿

(任期：平成21年5月29日～平成23年5月28日)

平成22年5月28日現在

役員種別	氏名	所属団体名等	役員種別	氏名	所属団体名等
理事 15名	豊田 慈 證	学 識 経 験 (前 教 育 委 員)	評議員 31名	曾 我 和 市	民生児童委員協議会副会長
	鈴木 俊 哉	民生児童委員協議会会長		大 武 憲 司	民生児童委員協議会副会長
	河 辺 禎 人	学識経験(健康福祉部長兼福祉事務所長)		渡 辺 久 一	民生児童委員協議会副会長
	鈴木 國 家	学識経験(田原福祉専門学校校長)		鋤 柄 俊 代	保 育 園 代 表
	神 谷 道 宣	学 識 経 験 (社 会 教 育 委 員)		鈴 木 卓	田原ハシフィクロータークラブ代表
	中村都祁子	学 識 経 験 (行 政 相 談 委 員)		河 辺 秀 嗣	小 中 学 校 校 長 会 会 長
	井 本 親 吾	学 識 経 験 (行 政 相 談 委 員)		松 井 克 志	行 政 相 談 委 員
	渡 会 清 継	総 代 会 会 長		森 下 達 矢	身体障害者福祉協会会長
	高 橋 元 彦	学識経験(前渥美町社協会長)		福 井 春 男	遺 族 連 合 会 代 表
	菅 生 禪 宥	保 護 司 会 会 長		大羽チズエ	更生保護女性会会長
	山 田 俊 郎	商 工 会 代 表 (田 原)		鈴木真一郎	老人クラブ連合会会長
	黒 田 廣 顕	ボランティアセンター運営委員会委員長		青 木 睦 彦	高 等 学 校 代 表
	古 田 勝 美	福 寿 園 理 事 長		川 口 正 臣	子ども会連絡協議会会長
	藤 城 正 行	成 春 館 理 事 長		亀 田 み は	母 子 寡 婦 福 祉 会 会 長
	太 田 健	学 識 経 験 (社 協 事 務 局 長)		山 田 晃 寛	田 原 青 年 会 議 所 理 事 長
監事 2名	田 中 正 文	税 理 士		中 野 正 通	J A 愛 知 厚 生 連 あ つ む の 郷 所 長
	河 辺 純 夫	田 原 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ 代 表		鈴 木 康 弘	J A 愛 知 み な な み 介 護 福 祉 課 長
評議員 31名	河 辺 寿 夫	野 田 中 学 校 区 の 総 代 代 表		緒 方 幸 枝	N P O 法 人 「 お お ぞ ら 」 代 表
	関 保 則	田 原 中 学 校 区 の 総 代 代 表		加 藤 隆 恵	児童養護施設赤羽根学園施設長
	村 瀬 精 彦	田 原 東 部 中 学 校 区 の 総 代 代 表		林 宏 恭	J A 愛 知 み な な み 生 活 部 長
	川 崎 政 夫	福 江 中 学 校 区 の 総 代 代 表		富 永 潤	田 原 市 医 師 会 代 表
	鈴 木 昌 弘	泉 中 学 校 区 の 総 代 代 表		大 瀧 正 之	医療法人誠淳会伊良湖ケアセンター事務長
	石 橋 善 成	伊 良 湖 岬 中 学 校 区 の 総 代 代 表		神 谷 幸 治	田 原 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ 代 表
	伊 藤 雅 章	人 権 擁 護 委 員 会 会 長		坪 井 昭 憲	仏 教 会 会 長

地域の活動紹介

いきいきご長寿のコツ ～『集まる場』のご紹介～

老後をいきいきと暮らす秘訣はたくさんありますが、最も効果が期待できるコツを3つあげてみましょう。

- 人と会い、会話し、笑いあうこと
- 会食や趣味を一緒に楽しむ仲間がいること
- 定期的に外出する場があること

ふれあいや語らいのひと時が持てる、『集まる場』に参加してみませんか。地域包括支援センターから、みなさんの身近な市民館や集会所で開催されている、2つの『集まる場』をご紹介します。



その1 閉じこもり予防教室

概ね65歳以上の方なら誰でも参加できます。保健師、社会福祉士、介護福祉士など福祉の専門職が、いきいきご長寿の応援をしています。以下のような効果が期待できます。

■効果 1「無理なく体を動かせる」

自宅から市民館や集会所まで出かけるだけでも、家にじっとしているのとは比べ十分な運動になります。また、高齢者でも無理なく楽しく参加できるプログラムを用意しています。

■効果 2「適度な精神的刺激」

出かけて、人と会って、笑い、歌い、ゲームをして…心と脳が喜ぶ企画をしています。

■効果 3「生活にメリハリがでる」

「今月〇日〇曜日が教室の日」と、次回の教室を楽しみに待つこと、人に会うためにおしゃれすること、そんなワクワクが、高齢者の生活には大切なことです。

その2 シルバーサロン

地域で仲間づくりをしたい方、健康づくりをしたい方、どなたでも参加できます。65歳以上なら参加者として、それ未満の方もボランティアとして自由に参加できます。

■どんなところで活動しているの？

主に校区市民館、集会所などを利用して開催されています。

■活動の回数は？

月2回隔週での開催が多いですが、毎週活動しているところもあります。開催時間も、サロンによって2時間程度から昼食をはさんで6時間までさまざま。参加者や担い手の希望で違ってきます。

■どんなことをしているの？

「こうでなくてはならない」ということは一切ありません。集まった方一人ひとりが、サロンで、「気軽に」「無理なく」「楽しく」話して笑い、時間を過ごします。シルバーサロンが高齢者の新しい生活習慣として定着すれば、ご近所のみならず、「寝たきり知らず」「ボケ（認知症）知らず」が広まっていくでしょう。

●問合せ先 田原市社会福祉協議会地域包括支援センター ☎24-0045

虹の会 ～障害のある・なしに関わらず楽しんでいます～

特定非営利活動法人 渥美虹の会は、障害児・者とその家族が、社会の一員として、可能な限りふつうの生活や社会参加ができるよう支援活動を行っています。

20年前に、言語訓練の先生の勧めにより取り入れた和太鼓ですが、今では、年に3回以上の発表の場を持つことができるようになり、多くの人達に和太鼓を通じてメッセージを伝えています。

この和太鼓活動は、福祉啓発事業として、平成22年度田原市「市民協働まちづくり事業」補助金採択事業として行っています。

和太鼓の楽しさを多くの人に伝え、共感したいため、「リズムにのって生き生きと!」をスローガンに和太鼓仲間を募集しています。

障害のある・なしに関わらず、興味関心のある方は、是非ご参加下さい。

- 練習日時 第2土曜日の14時～16時
〔見学14:00～15:30 体験15:30～16:00〕
- 練習場所 渥美文化会館多目的ホール

※なお、日時・場所が都合により変更する場合がありますので、ご参加いただける方は、お手数ですが必ず以下まで問合せくださるようお願いいたします。



●問合せ・申込先 特定非営利活動法人 渥美虹の会 北原 ☎090-9226-1977

田原市手をつなぐ育成会 ～可能性を探し続ける研修視察～

田原市手をつなぐ育成会は、「障害児・者と呼ばれるわが子が、幸せに暮らすためには、これから何が必要なのだろう？どんな環境で、どんな援助があれば自立した生活ができるのだろうか？」その答えのヒントを見つけるために、毎年、研修視察を実施しています。今年は、平成22年7月5日(月)、社会福祉法人双樹会「自由の杜」・「ワークショップ杜」、社会福祉法人福寿園「昭和の里」の視察を行いました。

視察させていただき、まず、施設のきれいさや充実した設備に驚かされました。また、法人の理念やスタッフの方の思いにより、すばらしい支援が実施されていると感じました。「将来、わが子がこうした良い環境で働けると良いなあ」と思った者も少なくありません。一方、現実問題として資金面などの安定した基盤の必要性も強く感じられました。

個性豊かで、潜在能力をいっぱい持っている障害児・者と呼ばれるわが子たちが「力を発揮するには」、「楽しく生活するには」…、田原市手をつなぐ育成会は前進の可能性を追い求めて、今後も一歩ずつ活動していきます。



施設を見学する育成会の皆さん

●問合せ先 育成会事務局(社会福祉協議会内) 担当 藤田・伊藤 ☎23-0610

お知らせ・参加募集

7月は『社会を明るくする運動』強調月間

“社会を明るくする運動”は、全ての国民が犯罪や非行の予防と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力をあわせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

福祉のつどい参加団体募集

社会福祉協議会では、「平成22年福祉のつどい」を開催するにあたり、参加希望団体を募集します。

参加希望団体は以下までご連絡ください。

参加内容は、バザー、作品の展示などボランティア活動に関する内容なら自由です。

- 開催日 平成22年11月14日(日)
- 場 所 田原市総合体育館、文化会館
※開催についての詳細は次号(9月号)にて掲載します。
- 問合せ先 田原市社会福祉協議会 担当 岡本・前川
☎23-0610



昨年度、要約筆記体験の様子

募集

ボランティアはじめて講座を開催します!

ボランティアとは

～楽しみながら人の役にたつもの～



ボランティアってなんだろう?

ボランティアなんて特別なことはできないと思いませんか?

ボランティアは自分が楽しいことを人に伝えるための活動です。
いろいろなことを少しずつ体験してこれなら出来るってことを見つけてませんか。参加してみたい気持ちがあれば誰でも参加できます。

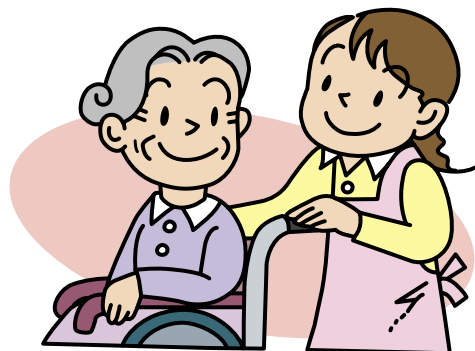
講師

鎌田博幸さん・阿部弘子さん・田原点字クラブ
手話サークル「でんでん虫」



- 日 時 平成22年9月4日(土) 13:00～16:00
- 場 所 田原福祉センター 大会議室(3階)
- 内 容 講義、点字・手話の実践、レクリエーション
- 参加対象 一般市民(高校生以上)
- 募集人数 30名
- 申込期限 8月27日(金)

- 申し込み・問合せ先
田原市社会福祉協議会 担当 太田・中西 ☎23-0610



田原市成年後見センター「権利擁護セミナー」

高齢化や核家族化が進んでいく中で、地域で暮らし続ける高齢者や知的・精神障害者の増加が見込まれています。その一方で、家族や地域、社会とのつながりが希薄になっています。その結果として、いわゆる「保証人」を求められても確保できない人が増えており、特に社会的支援を要する人たちの個人生活に影響をもたらしています。

さまざまな「保証人」の法律上の定義と、保証人がいなくても安心して暮らし続ける地域づくりを目指す「三重県伊賀市」の取り組みを知ることにより、市民、関係者が「保証人」にかかる問題意識を持ち、相互に連携協力して社会的な支援を必要とする人々を支えていくことについて学びます。

● 日 時 平成22年8月18日(水) 13:30～15:45
● 場 所 田原福祉センター 大会議室(3階)
田原市赤石二丁目2番地

参加費:無料

どなたでも参加できます。
事前申込は必要ありません。

講演1 「本当に「保証人制度」は必要か?～法律上の問題～」

熊田法律事務所 弁護士 熊田 均氏

熊田法律事務所長

日本弁護士連合会高齢者・障害者の権利に関する委員会副委員長

講演2 「地域福祉あんしん保証システム～地域における保証のあり方～」

伊賀市社会福祉協議会(伊賀地域福祉後見サポートセンター)

権利擁護課長 田辺 寿氏

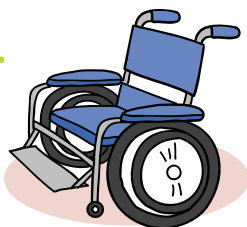


昨年度 セミナーの様子

● 問合せ先 田原市社会福祉協議会 担当 岩瀬 ☎23-0610

車いす短期貸出事業のお知らせ

社会福祉協議会では、短期間“車いす”を必要とされる方に無料で貸出を行っています。けがなどで病院への送迎や、学校・職場での利用、旅行などの外出時の利用などお気軽にご利用ください。



- 貸出期間:原則1ヶ月以内
- 貸出にあたっては、申請が必要です。
- 田原福祉センターでは土曜日、日曜日も貸出を行っています。
- 問合せ先 田原市社会福祉協議会 担当 中西 ☎23-0610

ふくし募金箱 新規設置店募集

ふくし募金箱を置いていただいている皆さんを募集しています。
ぜひご協力をお願いいたします。

- 問合せ先 田原市社会福祉協議会
担当 岡本 ☎23-0610



? ふくしクイズ ?

問題

社会福祉協議会は、地域に開かれた組織と、住民の方が主体となって法人経営を進めるために評議員を配置しています。さて、評議員の方は何名いるでしょうか?

- ① 15名
- ② 2名
- ③ 31名

ヒント 福祉だより3ページをご覧ください。

ハガキに答えと福祉だよりや社会福祉協議会へのご意見、ご感想をお書き添えのうえ、ご応募ください。
抽選で5名の方に図書カードをお送りします。

- ▼ 締 切 平成22年8月16日(当日消印有効)
- ▼ 応募先 〒441-3422 田原市赤石2-2
田原市社会福祉協議会

※5月号の応募数は26通でした。
ご応募ありがとうございました。

ご寄付ありがとうございました

(平成22年5月1日～6月30日)

- ・田原市文化協会 様
- ・匿名1件

こんな時、こんなお金を・・・

- お祝い事、ご香典の一部
 - 各種チャリティーバザーの益金
 - 商店の開店等の記念行事の一部
 - 福祉のために役立てようと思った時
- ※所得税や法人税などについて、優遇措置があります。

よみとき福祉用語

今回のテーマは『介護』です。

介護とは、単に食事や排泄、入浴を手伝うことではありません。介護を通じて、心と体の両面から、日常生活を援助することです。

どんな生き物でも、種の保存のための子育ては必死にしますが、介護を行うことができるのは人間だけです。人間だからこそ、相手の心と体を思いやり、その人の尊厳を大事にしながら日常的に支援が行えるのです。

介護はその人が住んでいる地域の中で行われる、いわば地産地消のものです。どんなに優れた介護があっても、お取り寄せは出来ません。地元の土と愛情が育てるキャベツが美味しいように、介護は地域の人々が育むものなのです。

『心配ごと相談開催スケジュール』

- 1 相談は、すべて予約が必要（2ヶ月以上先の予約はできません）。
- 2 相談時間は、20～30分を目安として下さい。
- 3 開催日によって、対応する相談員が変わりますので、予約の際にご確認下さい。

相談無料
秘密厳守

月	日	時 間	開催地区	弁 護 士	司 法 書 士	土 地 家 屋 調 査 士	民 生 委 員	人 権 擁 護 委 員	行 政 相 談 委 員	障 害 者 相 談 員	女 性 相 談 員	家 庭 相 談 員	母 子 自 立 支 援 員
8	3(火)	13:30～16:00	渥 美	○			○	○				○	
	4(水)	13:00～16:00	田 原	○			○	○	○		○		
	11(水)	13:00～16:00	赤羽根						※				
	17(火)	13:30～16:00	渥 美	○			○		○				○
	18(水)	13:00～16:00	田 原	○	○		○			○		○	
	26(木)	13:00～16:00	田 原	○									
9	1(水)	13:00～16:00	田 原	○			○	○	○		○		
	7(火)	13:30～16:00	渥 美	○			○	○				○	
	15(水)	13:00～16:00	田 原	○		○	○			○			○
	16(木)	13:00～15:00	田 原	○	愛知県巡回法律相談								
	21(火)	13:30～16:00	渥 美	○			○	○				○	
10	5(火)	13:30～16:00	渥 美	○			○	○				○	
	6(水)	13:00～16:00	田 原	○			○	○	○		○		
	13(水)	13:00～16:00	赤羽根						※				
	19(火)	13:30～16:00	渥 美	○			○		○				○
	20(水)	13:00～16:00	田 原	○	○		○			○		○	
	28(木)	13:00～16:00	田 原	○									

※赤羽根地区(赤羽根福祉センター開催)での行政相談をご希望の方は、赤羽根福祉センター☎45-3499へご連絡ください。

◆開催場所、予約申込先

田原福祉センター 社会福祉協議会内 ☎23-0610

渥美福祉センター(あつみライフランド)社会福祉協議会内 ☎33-0279

消費生活相談室

訪問販売や契約トラブル、悪質商法など、生活する中で困ったことがありましたら、お気軽にご相談ください。

- ◆日 時 毎週金曜日 10:00～12:00
- ◆場 所 田原福祉センター及びあつみライフランド
- ◆相談料 無料
- ◆問合せ 田原市役所商工観光課 ☎23-3516

福祉だよりの一部は社協会員の皆さんの会費によって作成されています。

編集・発行

社会福祉法人 田原市社会福祉協議会

田原市赤石二丁目2番地

☎ 23-0610 FAX 23-3970

E-mail info@tahara-shakyo.or.jp